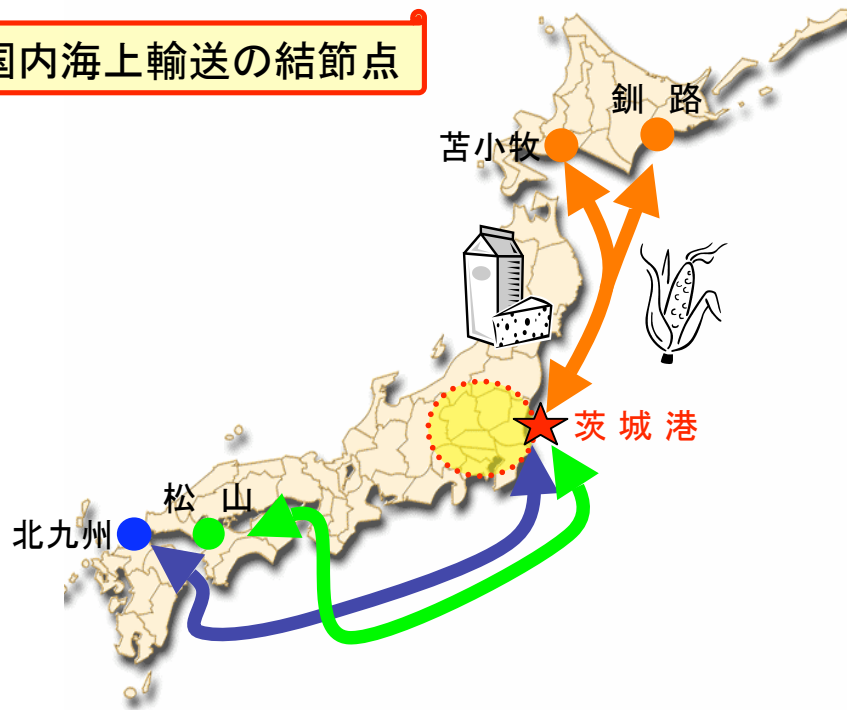


国内海上輸送の結節点としての機能が強化

—茨城港常陸那珂港区中央ふ頭—9m岸壁供用開始—

国内海上輸送の結節点



北海道航路 (週31便)

日立 - 釧路
RORO航路: 1日1便

常陸那珂 - 苫小牧
RORO航路: 1日2便 (日曜除く)

大洗 - 苫小牧
フェリー航路: 1日2便 (日曜除く)

北九州RORO航路

常陸那珂 - 北九州
RORO航路: 週3便

四国定期コンテナ航路

松山 - 常陸那珂
コンテナ航路: 週1便

●茨城港は平成20年12月に県北3港(日立港・常陸那珂港・大洗港)を統合して誕生。国際物流拠点であるとともに、首都圏や北関東地域と北海道や北九州などを結ぶ国内海上輸送の結節点としての役割も果たしている。

●平成21年8月に常陸那珂港区の中央ふ頭—9m岸壁が供用開始。同月から北海道定期RORO航路が従来の週6便から週12便に増便。茨城港全体では北海道との航路が、日立港区の週7便(RORO)、大洗港区の週12便(フェリー)と合わせて週31便となっている。

●茨城港の港湾取扱貨物量(平成21年)
23,394千トン 外貿: 2,836千トン
内貿: 20,558千トン

北海道航路の 取扱貨物量 (18,293千トン)	移出	日用品, 野菜, 輸送機械 など
	移入	生乳, 野菜, 水産物, 紙 など

●北関東自動車道の全線開通(H23.3.19)により、県内をはじめ、首都圏や北関東地域に対して商品をすばやく配送でき、本県及び近隣諸県の生活に大きく貢献できる。



日立港区(～釧路)



常陸那珂港区(～苫小牧)

中央ふ頭—9m岸壁が
供用開始(平成21年8月)



大洗港区(～苫小牧)